

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都府議会議員 **西野さち子** です！

発行：2021年1月31日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



医療  
検査  
補償

# 京都市は感染抑止の積極的方策を!!

## 共産党市会議員団が京都市に緊急申し入れ



1月13日に政府はようやく1都3県に続き京都を含む計7府県に新たに緊急事態宣言を発令しました。共産党市会議員団は、18日朝一番に、京都市に対して経済社会活動の自粛は補償と一体に進めてこそ実効性を確保することが出来るとして、「自宅療養中の方が死亡する事例も生まれており、一層の感染拡大も想定した体制の構築を求める。」「新型コロナウイルス感染症の特徴にふさわしく、無症状感染者による感染拡大を防ぐために、感染症の徹底した封じ込めのために戦略をもって社会的検査を行うこと。」国に対して、「あらゆる医療機関の減収補填および医療従事者への経済的支援を行うこと。」「社会的検査を含むPCR検査費用について、地方負担分の事後交付ではなく、全額国庫負担すること。」などを申し入れました。

## 核兵器禁止条約が発効 — 核なき世界へスタート

1月22日に国連の核兵器禁止条約が発効しました。昨年12月の国連総会では、130か国が賛同し、国連加盟国の3分の2を超えました。条約には51か国・地域が批准し、署名は86に達しました。条約の第1回締約国会議がオーストリアの首都ウィーンで今年中にも開催される予定です。日本共産党は、志位委員長が「心から歓迎する」と声明を発表しました。アメリカを先頭に核保有国は条約に敵対・妨害をしてきましたが、多くの国々が大国の圧力に屈しませんでした。西野さち子市議は、革新懇の皆さんとともに、京都駅前で行った宣伝アピールを行いました。



### 国民のいのち暮らし優先の政治を 街頭から訴え

1月23日、午前は西野さち子市議で午後は馬場こうへい府議が、西野区全域を合計8カ所で宣伝しました。

雨の中でしたが、手を振ってくださる方や、傘をさして聞いて下さる方もありました。「国の補正予算案はコロナ対策がたったの2割です。多くは相変わらずGOTOやデジタル化、軍事費です。日本共産党が組み替え提案をしましたが、菅首相は全く聞く耳を持ちません。京都市でも市長は市営住宅の家賃減免制度見直しや民営化、敬老乗車証の改悪など市民いじめの方針です。でも、市民の署名の力で敬老乗車証制度は来年度も手が付けられませんでした。



声をあげ政治を変えましょう。今年は総選挙です。野党共闘に最後まで努力をする日本共産党を大きくして下さい」と西野市議は訴えました。

### 議員日誌

### 北陸新幹線のトンネル工事で大量の掘削残土発生

西野さち子市議は文化環境委員会で北陸新幹線計画の土砂問題について、3度にわたって質問をしてきました。15年間の工事で、160万台のトラックが土砂を運ぶために、市内を走り回ります。どう処理をするのか、何処に保管するのか、全くわかりません。大岩山のような土砂崩れが起こらないように、更に質問を続けます。

